

令和6年12月3日

あきる野市議会議長 殿

会 派 名 自由民主党志清会

代表者氏名 堀江 武史

会派の（ 調査研究 ・ 研修 ） 報告書

このことについて、下記のとおり実施したので報告します。

記

1 調査研究または 研修実施日	令和6年10月9日（水）～ 令和6年10月10日（木） 1泊 2日
2 調査研究または 研修の場所	盛岡市 トーサイクラシックホール岩手(岩手県民会館) ----- ----- -----
3 調査研究事項 または研修名	第19回全国市議会議長会研究フォーラム in 盛岡 ----- ----- ----- -----
4 参加者氏名 （ 6名）	天野正昭、国松まさき、子籠敏人、ひはら省吾、村野栄一、 よしざわゆたか ----- -----
5 調査研究または 研修の概要及び 感想等	別紙のとおり

※ 自家用車又はレンタカーを使用した場合は、必ず自家用車・レンタカー使用報告書を添付してください。

【概 要】

この報告書は、盛岡市で行われた第 19 回全国市議会議長会研究フォーラムについての情報を提供し、これらの活動から得た知見をまとめたものである。

本フォーラムは「主権者教育の新たな展開」をテーマに 10 月 9 日、10 日の二日間に渡り開催された。まず初日は基調講演として、菅義偉第 99 代内閣総理大臣からのビデオメッセージがあり、続いて「地方議会の課題と主権者教育」と題してパネルディスカッションが行われ、井柳美紀静岡大学人文社会学部法学科教授をコーディネーターに、土山希美枝法政大学法学部教授、越智大貴(一社)WONDER EDUCATION 代表理事、渡辺嘉久読売新聞東京本社教育ネットワーク事務局、遠藤政幸盛岡市議会議長らがパネリストとして発表を行った。翌日は「主権者教育の取組報告」として河村和徳東北大学大学院情報科学研究科准教授をコーディネーターに、白鳥敏明伊那市議会前議長、師岡 覚四日市市議会議員、服部香代山鹿市議会議員らが、事例報告者として課題討議が行われた。

【感 想 等】

本研究フォーラムは昨今の地方議員のなり手不足、投票率の低下など、市民の政治に対する関心が希薄となってきたことへの危機感と、それに対する議会としての対応策について各氏が様々な立場から見解を述べたり、事例を挙げたりしていた。特に選挙権が 20 歳から 18 歳に引き下げられたことから、以前に増してその年代に政治に関心を持ってもらうことの重要性はパネリスト、事例報告者のほぼ全員に共通していた。

主に高校生や大学生を議場に招き、模擬議会を開催したり、逆に議員が学校に出向いて意見交換をするといったことがなされており、「主権者」になったばかりや、もうすぐなる年代の若者たちに、あなた方ひとり一人の力で政治を変えられるのだという意識を持ってもらおうとする試みが見られた。このような取り組みは、本市でも、主権者である市民の、議会や行政に対する関心度の向上に非常に参考となるものであった。



全国市議会議長会研究フォーラム in 盛岡会場